

秋田県教職キャリア指標(養護教諭)～秋田の 未来 と 教育 を支える人材の育成を目指して～

学び続ける
秋田の教師

◆学校経営支援・実践期

○副校長研修・教頭研修

◆教職経験活用・発展期

○実践的指導力発展研修

人事交流を活用した
資質能力の向上

- I 他県等との人事交流
II 校種間の人事交流
III 大学附属学校園との人事交流
IV 一般行政部門との人事交流

◆実践的指導力充実期

○各分掌・主任等による研修

○中堅教諭等資質向上研修
(採用11年目以降)

○各主任研修

◆実践的指導力向上期

○実践的指導力向上研修
(採用8年目)

○教職5年目研修
(採用5年目)

◆実践的指導力習得期

○実践的指導力習得研修
(採用2年目)

○新規採用者研修

◇学校経営ビジョンの理解と教職員の積極的な参画を支えるフォローアップの発揮 ◇評価システムを活用した学校運営状況の適切な評価と結果の分析 ◇管理職との連携による効果的な学校情報の発信と適切な情報収集 ◇地域人材・地域資源の有効活用のための連絡調整と工夫 ◇よりよい働き方を目指す校務分掌への提言・調整 ◇同僚性を育むベテラン教員としてのメンターの役割の理解と実践 ◇地域と連携した学校の安全な教育環境の整備 ◇危機管理体制に基づく自校の教育課題への迅速な対応	組織運営力	学校マネジメント力	学校経営力	◇学校経営ビジョンの実現と組織を動かすリーダーシップの発揮 ◇学校運営状況の適切な評価、結果を踏まえた施策の改善及び人事評価の実施 ◇自校の特色や教育課題の解決に資する柔軟なカリキュラムの編成と実施 ◇校務に関する情報の収集・分析・活用と情報セキュリティシステムの構築 ◇よりよい働き方を目指す校務分掌の改善・整備 ◇教職員の勤務やメンタルヘルスに関する日常的な状況把握と校内ケア体制の確立 ◇地域との連携を通じた安全で安心な学校づくりと危機管理体制の確立 ◇インクルーシブ教育システムの理念の共有と実現に向けた組織的取組の推進
◇カリキュラム・マネジメントを軸にした学校保健についての指導・助言 ◇学校保健を組織的に推進するためのロールモデルの提示	専門的指導力		外部折衝力	◇地域と学校との信頼関係の確立 ◇家庭や地域、関係機関との素早い連携と適切な対応の判断 ◇地域と学校相互の活性化を目指した地域人材・地域資源の有効活用
◇生徒指導におけるロールモデルの提示と指導・助言 ◇家庭や地域、関係機関との連携のロールモデルの提示と指導・助言 ◇自校の生徒指導やキャリア教育の課題を踏まえた改善策の提示と実施	生徒指導力 進路指導力		人材育成力	◇実践的なリーダーの育成を可能にする人材育成システムの構築 ◇適切な校務分掌による教職員の資質能力の向上 ◇授業観察や職務の実績に応じた適切な評価と指導・助言 ◇授業力等の向上に資する教員同士による効果的な校内研修の充実 ◇教員の資質向上に向けた主体的な研修受講への指導・助言
◇校務分掌の効果的な活用による若手教員の育成 ◇自校の教育課題の解決に資する研修等の企画・運営による教職員のスキルアップ	人材育成力		特別支援教育の推進力	◇校内支援体制の整備・充実に向けたリーダーシップの発揮 ◇家庭や地域、関係機関との連携推進に向けた調整と教職員への指導・助言
◇特別支援教育におけるロールモデルの提示と指導・助言 ◇自校の特別支援教育の課題を踏まえた改善策の提示と実施	特別支援教育の推進力			
教職経験活用・発展期【ベテラン教員】		第4ステージ		学校経営支援・実践期【副校長・教頭】
ベテラン教員としての自覚と責任をもち、多様な指導経験と広い視点から同僚・若手教員に指導及び助言をし、積極的に組織運営の改善に取り組む				管理職としての責任と自覚をもって校長を補佐し、特色ある教育活動を推進するとともに、教育課題に対応するマネジメント能力を発揮する

第3ステージ (目安:11年目～)	◇教育活動全体を通じた系統的・組織的なふるさと教育やキャリア教育の推進と充実 ◇体験的な活動の充実に向けた校種間連携と地域連携の推進と充実	① ◇学校保健計画・保健室経営計画に基づいた運営 ◇学校保健・保健室経営の多面的な評価と改善 ◇家庭や関係機関との連携に関するマネジメント	① ◇児童生徒一人一人の課題に対する指導・支援に係る校内組織等のマネジメント	① ◇各種情報の積極的な提供と校内外の関係者との連携・協働 ◇計画的・効果的な保健管理の実践と評価
実践的指導力充実期	◇「問い」を発する力を育成するための教育活動全体を見通した組織的な取組の推進と充実 ◇「問い」を発する力を育成し質を高めるための言語活動の推進と充実及び言語環境の整備と充実	② ◇学校経営方針に対する建設的な具申	② ◇児童生徒同士のコミュニケーションの促進を通じたより望ましい集団づくり	② ◇児童生徒の健康課題解決を目指した指導計画の立案、実践、評価及び改善
中堅教員としての自覚をもち、積極的に学校経営に参画するとともに、主任等の分掌に必要な役割・職務に関して理解を深め、組織マネジメント能力を身に付ける 【推進と充実】	◇学校教育目標の達成や学校保健の課題解決に向けた組織体制の推進と適切な指導・助言	③ ◇内外環境の把握・改善と学校の特色づくり	③ ◇家庭や地域等との積極的な連携・協働を生かした生徒指導	③ ◇早期発見・早期対応に向けた心身の健康課題の把握 ◇コーディネーター的な役割を果たした校内外の支援体制の充実
	◇一貫した支援や適切な指導に向けた、個別的教育支援計画(合理的配慮を含む)及び個別の指導計画の活用推進と適切な指導・助言	④ ◇危機管理マネジメントの実行と評価	④ ◇特別な支援を必要とする児童生徒への組織的な支援と、関係機関との連携	④ ◇教職員、保護者及び地域の関係機関への保健室経営計画の周知 ◇課題解決型保健室経営の組織的な実践と評価、改善
		⑤ ◇他校種との接続を踏まえた各種連携 ◇情報教育の体系的なアプローチ	⑤ ◇特別な支援を必要とする児童生徒への組織的な支援と、関係機関との連携	⑤ ◇児童生徒の健康課題解決に向けた体制づくりの推進 ◇学校保健マネジメントの実行と評価

第2ステージ (目安:4年目～10年目)	◇教育活動全体を通じたふるさと教育やキャリア教育の充実に向けた実践と改善 ◇キャリア教育の段階を踏まえた体験的な活動の充実に向けた実践と改善	① ◇学校経営の理解と保健室経営への反映 ◇学校保健に関する他の教職員への助言 ◇保護者への啓発活動	① ◇児童生徒一人一人の内面や背景の理解と全職員の連携による適切な指導・支援	① ◇情報の収集や分析、具体的計画の策定から事後措置までの計画的な保健管理の実践と改善
実践的指導力向上期	◇「問い」を発する力を育成するための教育活動全体を見通した実践と改善 ◇「問い」を発する力を育成するための言語活動の実践と改善及び言語環境の整備	② ◇学校保健計画への参画	② ◇児童生徒が互いに高め合おうとする集団づくりのための指導	② ◇学習指導要領、児童生徒の実態や発達段階に応じた保健教育の実践、評価、改善と効果的な推進
積極的に学校保健経営に参画しようとする姿勢をもち、個々の個性・適性・分掌等に応じた資質能力を向上させる 【実践と改善】	◇若手教員への学校保健や生徒指導などの実践的な研修を通じた助言	③ ◇コーチングの視点を生かした職務の協働的な遂行	③ ◇家庭との積極的な連携を生かした生徒指導の実践	③ ◇健康課題の背景の把握、支援方針・支援方法の検討、校内外の連携・協働というプロセスを踏まえた健康相談の実施
	◇一貫した支援や適切な指導に向けた、個別的教育支援計画(合理的配慮を含む)及び個別の指導計画の活用と改善	④ ◇学校危機の洗い出しと未然防止策の策定と実践	④ ◇特別な支援を必要とする児童生徒の多様性の理解と、適切な指導・支援	④ ◇学校教育目標の具現化を図るための保健室経営計画の作成と目標達成に向けた実践
		⑤ ◇カリキュラム・マネジメントの視点に立った教育資源の活用 ◇情報モラルの理解と情報モラル教育の実践及び改善	⑤ ◇特別な支援を必要とする児童生徒の多様性の理解と、適切な指導・支援	⑤ ◇保健組織活動の企画運営への参画

第1ステージ (目安:初任～3年目)	◇キャリア教育の視点を生かしたふるさと教育の基本的な理解と実践 ◇地域に根ざしたキャリア教育の基本的な理解と実践	① ◇養護教諭としての責任の自覚 ◇保健室経営の基本的な理解と運営 ◇保護者への共感的理解に基づく対応	① ◇児童生徒の内面の理解と個々の問題に対する組織の一員としての対応	① ◇救急処置、健康診断、健康観察、疾病管理と予防、環境衛生等の保健管理に関する知識・技能の習得
実践的指導力習得期	◇「「問い」を発する子ども」を育成する取組についての基本的な理解と実践 ◇「問い」を発する力の育成の基盤となる言語活動の理解と実践	② ◇学校経営方針の理解と保健室経営への反映	② ◇基本的な生活習慣の確立のための指導	② ◇学習指導要領の内容の把握と専門性を生かした指導の理解
教員としての心構えや公務員としてのモラル、学校保健、学習指導要領や教育課程についての基礎的知識及び指導力を身に付ける 【理解と実践】	◇児童生徒理解や健康づくりにおける自己の諸課題を解決する手段・方法の確認と実践	③ ◇学校組織における校務分掌の役割等の理解と職務の協働的な遂行	③ ◇家庭との連携を生かした生徒指導の推進	③ ◇学校保健安全法による健康相談の位置付けの理解と対応
	◇一貫した支援や適切な指導に向けた、個別的教育支援計画(合理的配慮を含む)及び個別の指導計画の理解と活用	④ ◇学校安全管理への意識付け	④ ◇特別な支援を必要とする児童生徒の特性の理解と把握	④ ◇学校教育目標の理解と児童生徒の健康課題等を踏まえた、保健室経営計画の立案と実施
		⑤ ◇地域人材と教育資源の把握と活用 ◇ICT活用の基本的な理解と技能の習得	⑤ ◇特別な支援を必要とする児童生徒の特性の理解と把握	⑤ ◇保健組織活動の意義の理解

研修段階 各キャリアステージで求められる 資質能力	本県の教育課題への対応		マネジメント能力	生徒指導力	専門的指導力
	【本県の共通教育課題】 ①ふるさと教育・キャリア教育の推進 ②「「問い」を発する子ども」の育成 ③若手教員の指導力向上 ④特別支援教育の推進 ⑤ICTの効果的な活用		①教育課程の理解と実践 ②教育目標の保健室経営への反映 ③学校経営への参画 ④危機に対応できる管理能力 ⑤地域人材や資源、教育情報の活用	①個に応じて指導・支援する力 ②集団に対して指導・支援する力 ③家庭と共に課題を克服する力	①保健管理の実践力 ②保健教育の推進力 ③児童生徒理解に基づく健康相談実践力 ④保健室経営の実践力 ⑤保健組織活動の推進力
			特別な支援を必要とする児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じて指導・支援する力 ICT活用の特性・強みを踏まえ、校務等において効果的に活用するとともに、役割と専門性を最大限発揮する力		

全てのキャリアステージで求められる教員としての基礎的素養

ふるさとを愛し支える自覚と志 教員としての使命感・倫理観・責任感 豊かな人間性と教育への情熱 課題を追究する創造的探究力

採用

採用段階 採用段階で 求められる 人材像	使命感・倫理観	人間関係形成力	教育的愛情と共感的理解	豊かな人間性と探究力	専門的知識
	教育者としての強い使命感と高い倫理観を身に付けている	協調性と豊かなコミュニケーション能力を有している	教育的愛情にあふれ、特別な支援を必要とする児童生徒を含め全ての児童生徒の心身の状況を踏まえ、受容的・共感的に理解ができる	個性豊かでたくましく、常に学び続ける探究力を有している	学校保健等に関する深い専門的知識と広く豊かな教養をICT活用も含め身に付けている
	□ インターンシップの制度化の検討 □ 教職大学院生に対する優遇制度 県内各大学と県教育委員会の連携 による人材育成 □ 「教師塾」等への支援 □ 県が求める教員の資質能力のビジョンの共有				
養成段階 育成する教員の 資質能力の 基盤	専門職としての自覚と責任	協働性と開かれた学校づくり	子どもへの共感的理解と集団づくり	健康づくりと豊かな学びの創造	
	□ 教師としての使命感と倫理観 □ 教育力の向上への心構え □ 自己管理と心身の健康	□ 円滑な意思疎通や関係性の構築 □ 組織の一員としての自覚と協力 □ 家庭や地域社会との連携	□ 子どもと集団の理解 □ 個と集団のバランスの取れた保健室経営 □ 子どもの個性の伸長と自立心の育成 □ 特別な教育的ニーズと支援に関する理解	□ 教育課程の編成に関する理解 □ 教育内容・教材に関する理解 □ ICT活用も含め効果的な指導方法に関する理解	
	豊かな人間性と社会性		教師の専門性～子ども理解と学校保健の基礎～		

高等学校段階からの
教員養成の取組

ミニミニ教育実習の実施

教員養成系大学附属校における
研究会の参観

地域の小・中学校での教職職場体験や
学習ボランティア活動の実施

関連する研修・事業等

教員(養護教諭)養成系大学と
秋田県教育委員会
との連携

- I 秋田県教職キャリア協議会
への参加(の開催)
II 県主催事業への参加や総合
教育センターの公開講演等
の聴講
・研究発表会等
III 各大学が行っている事業を
活用した相互交流
・あきたの教師力高度化
フォーラムへの参加等